

平成22年度 事業報告

社会福祉法人 国立保育会

国 立 保 育 園

平成22年度事業報告

新保育所保育指針の実施初年度であることから、その実現に向けての取り組みを行った。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

全園児数は1年を通じ104名から106名だった。

クラス名	年齢	保育士数	園児定数	備考
青組	5才	2	20	主任保育士 1
緑組	4才	2	20	障害児担当保育士 1
橙組	3才	2	20	パート保育士 3
桃組	2才	3	18	延長保育士 1
赤組	1才	3	13	フリー保育士 2
ひよこ組	0才	3	9	看護師 1
合計		15	100	

イ 月別保育予日数

保育予定日数293日保育を実施した。

ウ 健康管理

全園児の健康診断を4月24日と10月23日に実施した。

0歳児健診を4/24、5/22、6/26、7/24、8/28、9/25、10/30、11/27、12/25、1/29、2/26、3/26の12回実施した。

1歳児健診を4/24、7/24、10/30、1/29の4回実施した。

歯科検診を6月25日に実施した。

耳鼻科検診を6月17日に実施した。

眼科検診を5月28日に実施した。

歯科講話を11月26日に歯科医師と歯科衛生士により実施した。

口腔衛生指導を歯科衛生士により6月26日と12月2日に、2月17日は年長児に実施した。

尿検査を5月14日に実施した。
ぎょう虫検査を5月14日に実施した。

身体測定を毎月1回実施した。
健（検）診について計画通りすべて実施した。
健（検）診のお知らせを事前に配布し、結果については「お知らせボード」に記載するとともに健康手帳に記録した。
看護師による「頭じらみ検査」や歯のブラッシング練習、うがい練習等を実施した。
新型インフルエンザの流行に対し、感染の拡大防止に努め、適切に対処した。日々、「お知らせボード」や玄関掲示板に貼りだして保護者に注意を喚起するとともに情報の迅速な周知に努めた。また、国立市へ発生状況を報告した。
園児の体力作りの一環として幼児クラスは外部講師による体育指導を毎週金曜日の午前に実施している。園児たちもとても楽しみにしている。

エ 保育内容について

園の保育理念園である「かけがいのない命をはぐくむ場」、保育方針として「心身の健全で調和のとれた育成に努力し、豊かな人間性を持つ子どもを育て、将来において親と子の真の幸福を期待することを目標とする」保育目標として

- ・友だちをたいせつにできる子ども
 - ・生き生きとした子ども
 - ・健康で心豊かな子ども
- を掲げており、その実現のために保育計画を作成し達成に努めた。

主な行事は下記のとおりである。

4月	5日	入園式・始業式
	15日	こいのぼり掲揚式
5月	14日	誕生会
	19日	年長児遠足（多摩動物公園）
	26日	3．4歳児遠足（羽村動物園）
6月	4日	時の記念日集会
	21日	人形劇団公演（ホール、地域の方も観劇した）
8日～	13日	保育参観・懇談会
	7月 1日	プール遊び
～8月	22日	
	7月 2日	誕生会

2日～3日	お泊まり保育（年長児）
9月11日	誕生会
10月9日	運動会
28日	秋の遠足、2歳児～5歳児（昭和記念公園）
11月12日	誕生会
19日	勤労感謝の集い
12月11日	お遊戯会
16日	クリスマス会
1月14日	もちつき大会
26日	おわかれ遠足（東京ディズニーランド）
2月3日	豆まき
4日	誕生会
14日～18日	クラス別保護者懇談会
25日	幼児組お店屋さんごっこ
3月3日	ひなまつり会
10日	お別れ会
20日	第53回卒園式

オ 栄養管理（食育）

栄養報告、献立表、給食提供に関する諸管理を計画通りに実施した。

アレルギー児用献立表を別に作成し該当の保護者に毎月配布した。

7月15日、食育集会を実施し、出入りの魚屋さんに鮭の解体ショーをしていただき、「いのちをいただく」ことについて栄養士から話をした。

幼児3クラスは園庭やプランターを利用し、キュウリ、ナス、ピーマンを栽培した。

毎月、保護者に「給食だより」を配布し食育についての啓蒙に役立てた。

毎月、給食委員会を開き園長、主任、栄養士、保育士が出席し献立について反省、検討をした。

新入園児説明会、保護者懇談会に栄養士も出席し保護者の意見を取り入れよう努めた。

法人内三園合同の栄養士会を3回開催し、情報交換と食育への取り組みについて強化した。

毎月、三園の給食献立と「給食だより」を検討した。

カ 安全管理

6月26日、立川消防署員に来ていただき心肺蘇生講習会を職員に実施

6月29日、立川警察署員による交通安全教室を実施

砂場は毎週1回掘り起こし、紫外線に当てた。

学校110番点検、防災無線点検、防火装置点検を業者に依頼し実施した。

「建物、および消防自主点検表」に基づき、日々、チェックした。
お泊まり保育の夜間対応として警備会社の警備員を配置した。
ボイラーの定期点検を（ユアテック）により実施。
地下灯油タンク気密検査を（出光リテール販売）により実施。
各クラス、給食室、ホール等のエアコンの清掃・点検を業者に依頼して実施した。
給食室の清掃を業者に依頼して実施した。
多摩・立川保健所による栄養士・調理士の手指の衛生検査を実施した。
新型インフルエンザの感染予防に玄関、各クラス入口、給食室、事務室等に消毒液を配置し感染拡大に備えた。
AEDを設置し近隣の方の利用も可能であることを周知した。
防犯カメラを4台設置し、園舎、園庭、門、駐車場等の防犯に役立てた。

（2）職員の処遇

ア 職員構成は上記のとおりである。

イ 健康管理

全職員の健康診断を実施した。

毎月職員の検便を実施した（検査機関は株式会社立川臨床医学研究所）

ウ 職員会議

毎月定例で実施し、年間12回。

期別会議を4月3日、1月8日、3月19日の3回実施した。

リーダー会議、フロアー会議、行事打ち合わせを必要に応じ適宜開催した。

新たに、カリキュラム会議を毎月開催し、保育内容の見直し・検討を実施した。

エ 研修計画

園長 東京都主催の行政報告研修

保育指針が求める施設長の責務

経営層向け東京都の保育行政、及び指導検査研修会

主任 防火・防災管理者講習に出席し、資格を取得した。

リーダーシップ研修会

副主任 東京都主催の社会福祉事業従事者研修

保育士 中堅保育士2名を東京都福祉保健局主催の社会福祉施設従事者人権研修、

親へのサポート、発達障害、絵画指導、運動会の実技、こどもの育ち、子どもの心理など実務的実践的な研修・講習に出席。

看護師 歯科保健担当者研修会、アレルギー相談実務研修会、ブラッシング指導説明会、

子どものぜんそくと食物アレルギーについて、母子健康協会シンポジウム、
新型インフルエンザ感染予防対策に関する説明会。

栄養士 栄養管理講習会、東社協給食担当者講習会、食物アレルギーについて、子ども
の食育と保育を考える、等の研修

事務 東社協主催の会計基礎実務研修、東京都主催の保育所会計実務等講習
などの研修・講習会に全職員が1回は出席するようにした。
他に法人主催で国分寺市の「さわらび教室」主宰者永山秀夫先生による「し
ょうがいじ保育について」の研修を北市民プラザにて実施した。
市内私立保育園主任会主催の「新保育所保育指針について」を汐見稔幸白梅学
園大学長の研修を受講した。

研修・講習に参加した職員は報告書を提出するとともに研修報告会を実施し共
有化を図った。

法人内三園合同の主任会、栄養士・調理士会、看護師会、同年齢児担当保育士
会を定期的に行き情報共有と技術の向上に努めた。

オ 人材育成

○J Tを実施し、人材育成の一助とした。

自己評価制度を取り入れ、職務の遂行状況と見直しをした。

自己申告制度を実施し、意識の高揚を図った。

カ 福利厚生

職員の親睦と融和を図ることを目的に食事会、歓送迎会への補助をした。

退職職員の事務手続きを速やかに行った。

インフルエンザの予防接種に助成をした。

新宿京王プラザホテルで開催された東京都民間保育園協会主催の永年勤続表彰式と懇
親会に、該当する1名の職員を出席させた。

2. 施設管理

(1) 事務関係

会計事務、管理事務、児童処遇事務を適切に行った。

会計事務、社会保険事務を契約事業者と連携し速やかな事務の遂行に努めた。

(2) 設備関係

床暖房用加圧給水装置の入れ替え、給食用ダムウェターの交換、給食室の窓ガラスを耐
熱強化ガラスに交換、1階網戸の全面的張り替え、

(3) 備品関係

食育の充実のため調理機器、食器を大幅に入れ替えた、各クラスへ遊具の充実、加湿消臭器の設置、消化器2本交換、

(4) 財務関係

予算の執行については毎月の運営会議、8回開催した理事会等で進捗状況を詳細に検討し、適切な運営・処理に努めた。

別紙、決算書参照

(5) 災害対策

ア 避難訓練 地震想定を4月20、6月22日、8月26日、9月1日、12月21日、2月28日、3月14日の7回実施した。

火災・消火訓練を5月25日、7月12日、10月25日、11月24日、1月24日、5回実施した。

不審者対応訓練を1月18日に実施した。

災害時引き渡し訓練を9月2日に実施した。

避難訓練、消火訓練等を実施後は速やかに立川消防署国立出張所へ「自衛消防訓練通知書」をFAX送信した。

イ 防災設備の点検を千代田防災に委嘱し2回実施した（9月4日、3月30日）。

ウ 防災自主点検を月1回実施した。

エ 備蓄用飲料水を追加した。

オ 非常灯の検査を6月22日（株）松本設計に依頼して実施した。

3. 地域社会との連携

ア 地域交流、子育て支援

- ・老人福祉施設サニーライフとの交流を実施した。

園児がサニーライフへ伺ったり、入所者が園においていただき運動会の予行練習の見学やお遊戯会の見学等交流を深めた。年間10回。

- ・出前保育の実施 北第一公園を利用して公園に遊びに来ているお子さんとエプロンシアター、大型紙芝居、協同遊びなどを行った。

5月21日、6月15日、7月13日、10月28日、11月24日、11月25日の6回実施した。

- ・異年令交流

運動会を9月26日に実施した。

国立市立第四小低学年児童の受け入れを6月3日に実施した。

国立市立第四小学校を年長児が2月に訪問した。

国立市北学童を年長児が3月10日に訪問した。

- ・保育所体験を9月7日、9月26日、の2回実施した。
- ・小中高生の育児体験受け入れ（中学生ボランティア受け入れ）
7月25日、7月31日、8月4日、8月5日、8月6日、8月7日、8月18日、8月19日、8月24日、8月25日、8月26日、8月28日の13日間、参加者6名。
- ・子育てサークル支援
5月16日、7月18日、9月19日、11月21日、12月19日、1月16日の6回実施した。
- ・子育て情報誌「わくわくつうしん」「おおきくなあれ」をほぼ月1回、計12回発行した。
- ・地域の方へ園庭を開放した。
基本的には毎月第2、第4土曜日に実施した。
- ・人形劇団を呼び地域の方へも開放した。

イ 児童虐待への対応

児童虐待については法人独自の職員研修会を実施するなど、その早期発見に力を入れて取り組んでいるところである。在園児について小平児童相談所主催の関係者会議に出席し、情報の共有に努めた。また、気になる園児が複数存在することから、東京都立川児童相談所、東京都小平児童相談所訪問して密接な連携をとり、事故の未然防止に努めている。次年度も引き続き早期発見、早期対応を心掛ける。

4. その他

ア 個人情報の保護について

個人情報管理規定を職員に周知徹底し、適切に取り扱った。

個人情報等の流失防止と安全対策のため、データサーバーを設置した。

イ 苦情対応

新たに「苦情受付ボックス」を玄関に設置し、意見の聴取に努めた。

なお、受け付けた苦情については必要に応じてその経過をホームページで公開している。

- ウ ホームページを大幅にリニューアル
内容を日々更新し、携帯からも見られるようにして保護者への迅速な情報提供に
努めた。

- エ 東京都福祉サービス第三者評価を受診した。
利用者アンケートを11月1日に配布
訪問調査を1月20日、21日に実施した。
説明会を3月1日に実施した。

以 上

平成 22 年度 北保育園 事業報告書

社会福祉法人 国立保育会
北保育園

平成 22 年度 北保育園 事業報告

平成 22 年度は、指定管理として北保育園の運営を平成 23 年度以降も委託され続けることが北保育園の大きな事業目標でした。園児定員の 69 名とし、一時保育の定員の 5 名を 7 名に増員、保護者から信頼される保育園に向かって保育園改革に取り組み「保護者に選択される保育園」にむかって保育にあたりました。平成 22 年 10 月 1 日から設置変更となり、民設民営の保育園として国立市私立保育園の園長会・主任会にも入会できました。また園庭の改善に取り組み、園庭の芝生化に取り組みました。

東京都の監査を平成 22 年 6 月 3 日に受審、また第三者評価を平成 22 年 12 月 25 日に受審しました。

1. 施設運営

(1) 児童の処遇

ア 園児・クラス編成 69 名

クラス名	年齢	保育士数	園児定数	備 考
ひまわり組	5 歳児	1 名	12 名	副園長 1 名 主任 1 名 副主任 1 名 障害児担当保育士 1 名 パートタイム保育士 4 名 延長保育士 1 名 フリー保育士 1 名 看護師 1 名
すずらん組	4 歳児	1 名	12 名	
ちゅうりっぷ組	3 歳児	1 名	12 名	
たんぽぽ組	2 歳児	2 名	12 名	
すみれ組	1 歳児	3 名	12 名	
ひなぎく組	0 歳児	3 名	9 名	
合 計		11 名	69 名	

イ 補助事業

・延長保育事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月極利用者	7	7	7	7	8	8	8	8	12	13	12	12	109
一日利用	16	20	30	17	17	21	12	14	10	15	15	29	216

・一時保育事業 定員 7 名

対象時 満 1 歳を迎えた乳幼児

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
市内一日利用	70	65	83	93	81	76	90	86	78	80	86	82	970
市内半日利用	20	14	23	27	23	23	23	26	20	20	14	16	249
市外利用	2	0	1	3	1	2	1	1	1	3	4	2	21
合計	92	79	107	123	105	101	114	113	99	103	104	100	1240

ウ 自主事業

・園庭開放

毎週水曜日実施し、実施回数は 28 回で延べ利用者数は 192 人（保護者 94 人・子ども 98 人）

- ・子育て相談窓口

園庭開放、保育所体験、子育てサークル支援の際に利用者あり。(相談数は年間 9 件)

- ・その他

その他の事業については、6,7 ページ『地域子育て支援』に記載

エ 保育課程

① 保育理念

かけがえのない命をはぐくむ場

家庭や地域社会と連携を取り合いながら、子どもにとって真に良い環境を整え、発達、年齢に応じたゆとりのある保育の中、自ら意欲的に取り組む力を養えるようにする。



◎保育方針、保育目標に反映させた。

② 保育方針

- ・家庭や地域社会と連携を図り、安全と安定した環境の中で保育をする。
- ・養護と教育が一体になり、意欲的な生活のできる環境を大切にする。
- ・心身共に健全な、豊かな人間性を育成する。
- ・地域における子育て支援を積極的に担っていく。

③ 保育目標

- ・安定した情緒を大切にし、誰とでも自然にあいさつができるようにする。
- ・個々の生活を守り、じょうぶな身体づくりを行う。
- ・集団生活の中で、友だちと共に生きる力を養う。
- ・自然や社会の事象に関心を持ち、自ら意欲的に取り組める力を養う。



◎各年齢別の保育内容に反映させた。

④ 保育内容

☆子どもの最善の利益を守り、心身共に健康な子どもの育成を目指し、発達過程に応じた養護と教育が一体になった保育を行う。



◎保育計画を作成する上で、乳児クラス（0,1,2 歳児クラス）の個別計画をより丁寧に立案し、幼児クラス（3,4,5 歳児クラス）においては 22 年度から各期ごとの個別のねらいを立案し、発達の継続性を意識しての立案に心がけた。

◎幼児クラス（3,4,5 歳児クラス）において、縦割り活動を定期的実施した。これについても、年間目標を掲げそれに向けての一貫性を持たせる保育を行うため、保育計画を作成している。

◎外部講師による体育指導を幼児クラス（3,4,5 歳児クラス）に実施している。

◎2～5 歳児クラスが高齢者施設を訪問、3,4,5 歳児クラスが地域自治会（みどり会）と交流を図ることで、地域の様々な人を知り子ども自身の気付きがあり良い成果がでていく。

- ◎障がい児保育について、個別の保育計画を作成し計画に基づいた保育を実施した。家庭や専門機関等の助言を受け、必要に応じた対応を行った。
- ◎保護者と信頼関係を保つよう努力し、会議の中で子どもの様子を話し園全体で情報を共有することで、虐待予防に努めた。
- ◎延長保育は長時間保育マニュアルに沿って保育を行い、子どもの情緒の安定をはかるよう努めた。
- ◎行事日程について運動会は、近隣の学校等と同日とならないよう 9 月 25 日（土）の設定とし、雨天時は 26 日（日）に行うこととした。結果、26 日の実施となった。卒園式については、園児全員でのお祝いの会にすることを目的とし、3 月 25 日（金）平日に実施した。
- ◎運動会の順延日が同日となってしまう可能性が高いため、来年度に向け再考した。

オ 園児の健康管理

- ・全園児の健康診断を 5/28、10/22 に実施。
- ・0 歳児健診を 4/30、5/28、6/25、7/23、8/27、9/24、10/22、11/26、12/24、1/28、2/25、3/25 の 12 回実施。
- ・1 歳児健診を 5/28、7/23、10/22、1/28 の 4 回実施。
- ・歯科検診を 6/10 に実施。
- ・耳鼻科検診を 5/19 に実施。
- ・眼科検診を 5/26 に実施。
- ・歯科講話を 11/25 に歯科医師と歯科衛生士により実施。
- ・口腔衛生指導を歯科衛生士により 6/8、11/16 に、2/9 には卒園指導として年長児に実施。
- ・尿検査を 5/12 に実施。
- ・ぎょう虫卵検査を 5/12 に実施。
- ・身体測定を毎月 1 回実施。
- ・健診（検診）について計画通りすべて実施。
- ・健診（検診）のお知らせを事前に配布、結果については健康手帳に記載するとともにクラスボードにて掲示した。歯科検診については結果票を個別に配布した。
- ・看護師が 2 歳児を対象に、歯のブラッシング指導とうがい練習を実施。手洗い指導については、2 歳児、3 歳児、4 歳児、5 歳児クラスを対象に実施。また、3 歳児、4 歳児、5 歳児クラスを対象に視力測定を実施。
- ・冷凍母乳については、母乳栄養を希望する 5 名の保護者に対し、冷凍母乳を受ける体制を整え対応した。衛生的に取り扱えるようにマニュアル化している。
- ・布団乾燥を月 2 回実施。
- ・感染症拡大の防止に努め、適切に対応した。随時、玄関掲示板やクラス前に貼りだしを行い、保護者に注意を喚起するとともに情報の周知に努めた。

カ 食事・栄養管理

- ◎乳幼児期の食事は、その人間の一生の食生活のあり方に大きな影響を与えるため、栄養管理と食育の充実に努めた。
- ◎衛生管理について徹底し、安全なより良い食材を基本に食品添加物及び化学調味料等の使用を極

力控えた食事を提供した。

- ・離乳食会議、献立会議を毎月 1 回実施した。
- ・毎日食事のサンプルを展示した。(離乳食は月 1 回展示) 土曜日のみ、サンプルではなくホームページにて紹介した。
- ・月曜日から土曜日までの食事を実施した。
- ・食事摂取基準に基づき、園独自の目標量の献立で予定表を作成し、保護者へ配布した。離乳食については初期、中期、後期、完了期の個別対応をし献立表の作成、配布をした。
- ・集団給食施設栄養報告書を東京都多摩立川保健所に提出した。
- ・誕生会、クリスマス会、ひな祭り会、お別れ会等の行事食や季節感や旬の物を取り入れての食事を楽しめる献立、和食・洋食・中華等、バラエティー豊かな食事やおやつを提供を実施した。
- ・毎月、新メニューを取り入れた献立を実施。
- ・延長保育の補食は、夕食に差し障りのないように配慮した。
- ・アレルギー児の対応については、医師の診断書に基づき適切な対応を行った。(除去食、代替食で対応) 食事の提供時はそれぞれのトレーに名前とアレルギーを記載したプレートのをのせ、誤食のないように配慮した。アレルギー児対応マニュアル通り実施。

キ 安全管理対策

- ・立川消防署国立支所より心肺蘇生講習会を職員に実施。(7/23)
- ・AED 取り扱いの説明を職員が設置業者より受ける。(8/26)
- ・立川警察署より交通安全指導を受ける。(5/13 2/22)
- ・各クラス別に毎月チェックリストを用い、保育室の点検を行う。
- ・保育園の施設全体の安全点検を、毎月チェックリストを用い行う。
- ・固定遊具等の安全点検を行う。
- ・遊具についてのルールを統一し、マニュアルを用いて職員に周知徹底し指導にあたった。
- ・防災訓練計画を作成し、職員の教育をした。
- ・防犯訓練を 2 回実施し、マニュアルに沿って子どもの安全が守れるよう不審者対応をした。

2. 職員の処遇

(1) 職員構成

園長	1 名	副園長	1 名	主任保育士	1 名	保育士	12 名	非常勤用務	1 名
栄養士	1 名	調理師	1 名	看護師	1 名	嘱託医	1 名	非常勤職員	6 名
管理栄養士	1 名								

- ・職員体制は、施設長はじめ保育士クラス担任全員が有資格者で対応した。

(2) 健康管理

- ・全職員が生活習慣病検診または人間ドックを受診した。
- ・全職員が毎月 1 回、検便を実施した。(検査機関：立川臨床医学研究所)

(3) 職員会議

- ・毎月定例で職員会議を実施。必要に応じて適宜臨時職員会議を開催。
- ・リーダー会議、乳児会議、幼児会議、気になる子への対応会議を毎月実施。
- ・研修会に参加した職員は、研修の報告を行ったが、園内研修については予定通りの開催ができなかった。
- ・献立会議、離乳食会議を実施。
- ・園よりの伝達事項、行事の計画・運営・反省点等、指導計画の検討を行った。
- ・安全教育・防災教育等を会議の中に取り入れた。
- ・各会議録については、コピーを各部署に置き書類上でも周知を図った。

(4) 研修計画について

園長	気になる子への保護者対応
副園長	保育士の専門性を高める研修会 国立市母子保健連携会議
主任	国立市内幼・保、小・中学校合同生活指導連絡協議会 保育所初任保育所長研修会 経営層向け研修会
副主任	中堅職員向け研修会 リーダーシップ研修会 リスクマネジメント入門
保育士	運動会のための実技研修会 気になる子への保護者対応 保護者対応研修会
看護師	気になる子への保護者対応
栄養士	栄養管理講習

◎他に国立市内私立保育園主任会主催の研修会に参加した。

内容：『気になる子どもへの理解と対応』（講師 篠崎昌子すみれクリニック院長）

◎研修・講習会に参加した職員は報告書を提出するとともに、職員会議の中で報告を行い研修・講習内容の共有化を図った。

◎法人内の三園合同の主任会、栄養士会、看護師会を定期的に開催し情報の共有化と技術の向上に努めた。

◎法人内の三園合同の同年児保育士研修を行い、保育士の能力向上に努めた。講師は各園の主任・副主任が務めた。

(5) 職務分担

- ・園全体の組織とその仕事内容を明確にし、一覧表を職員に配布するとともに事務室内に掲示した。

(6) 福利厚生

- ・職員の親睦と調和を図ることを目的に、食事会への補助をした。
- ・東京都民間保育園協会主催の永年勤続表彰に該当者 3 名を出席させた。

3. 保護者との連携

(1) おたよりの配布

- ・園だより、ほけんだより、食事だより、クラスだより、献立表は毎月 1 回発行し年間行事予定表は年 1 回発行した。保護者全員に配布し、保護者の意見内容によりその意見を運営に反映させた。
- ・外国籍の保護者に対しては、漢字の読めない方にルビをふる等の配慮を行った。

- (2) 保育参観・保育懇談会・個人面談
 - ・保護者に子どもの成長を知らせるとともに、家庭の様子も聞きながら園の方針や保育内容について話しあいを行った。保育参観については年1回（6月）実施、保育懇談会については年1回（6月）、10月・1月（年長児のみ）・2月（0～4歳児）に個人面談を行った。個人面談希望者については、通年受け付けており随時実施している。
- (3) 行事の参加・協力
 - ・誕生会、秋まつり、運動会、お楽しみ会等の行事に保護者の参加・協力をお願いし子どもや職員と一緒に楽しみや喜びを共有できるよう努めた。
- (4) 試食
 - ・保育参観時には食事、誕生会時には午後のおやつを試食する機会を設け、献立内容を説明し栄養に関する知識や食育の大切さを知らせることに努めた。

4. 災害対策

(1) 安全管理体制

- ・避難訓練（地震想定）を4/16、6/9、9/3、10/18、12/9、1/17、3/11（東日本大震災発生）…7回（火災想定）を5/11、7/8、8/10、11/12、2/17…4回（消火訓練を伴う）
- ・災害時園児引き渡し訓練を9/3に実施。
- ・防犯訓練を5/31、9/10に実施。
- ◎避難訓練、消火訓練等を実施後は速やかに立川消防署国立支所へ『自衛消防訓練通知書』をFAXした。
- ◎防災訓練計画書により職員の教育を行う。

(2) 防災設備の保守点検

- ・㈱千代田防災に以来し2回実施した。8/30、2/18
- ・毎月1回の防災検査報告書に基づき、自主点検を行った。

(3) 防災用品の設置

- ・園児・職員の安全確保を維持するため、備蓄用非常食・飲料水等の確保をした。
- ・非常事態に備え、防災頭巾・ロウソク・救急用品・避難靴（1,2歳児用）・防犯ブザー・防犯スプレーを常備している。

5. 地域における子育て支援・地域社会との交流

◎地域子育て支援

- ・北在宅サービスセンターとの交流（訪問）を実施。（2～5歳児クラス）
実施日：5/31、6/14、7/12、10/8、11/5、12/14、1/13、2/4（年8回実施）

- ・異年齢児交流 地域の小学生や卒園児との交流をもった。
実施日：9/4、9/26、2/23（年3回実施）
- ・保育所体験を実施した。
実施日：5/13、9/4、9/26、11/17、11/18、1/13、2/3、2/22（年8回実施）
- ・出前保育を実施。地域の子育て家庭に対し、園児と一緒にあそびの提供をした。
実施日：5/26、6/16、7/14、9/1、10/27、11/10（年6回実施）
- ・子育てサークル支援
実施日：6/12、7/10、9/11、10/9、11/13、12/18、1/15、2/12、3/12（年9回実施）
- ・子育て情報誌（『いちご通信』『ぴよぴよ』）を発行した。
発行日：5月～2月の1日～15日に発行。（年10回）
- ・育児体験受け入れ 高校2年生を1名受け入れた。 8/5（1回実施）
- ・実習生受け入れ・ボランティア受け入れについては、受け入れ体制は整えているが希望者はいなかった。

6. 要望・苦情・トラブルへの対応

- ・『苦情処理対応マニュアル』に則り、敏速かつ円満な解決を目指し対応を心がけた。受け付けた要望・苦情については『問い合わせ・苦情対応用紙』に記載し周知した。なお、受け付けた苦情については、必要に応じてその経過をホームページで公開している。

7. 個人情報保護

- ・個人情報管理規定に則り、適切に取り扱いをした。また、全職員に対し誓約書の提出を求めた。
- ・マニュアルに記載のチェックリストに基づき、自己点検を行った。

8. 環境保護に対する取り組み

- ・園内の清掃は、調理器具・食器に至るまで洗剤は使用せず石鹼で対応した。
- ・安全な食材を利用するとの観点から、できる限り無添加・無農薬の野菜を利用している。

9. 第三者評価

- ・利用者アンケート・第三者評価を受審することで、保育の質の向上に努めるよう努力した。園の姿勢を示し理解を深める事と、今後の課題を職員が周知し新たな取り組みを考えていく機

会となった。

利用者アンケートを H22.11/8 に配布した。

訪問調査を H23. 1/18 に実施した。

結果報告会を H23. 3/ 1 に実施した。

10. 一時保育

- ・利用しやすい環境作りに配慮した。利用人数については、1 ページの表に記載。
- ・一時保育の需要が高く、子ども家庭支援センターとの連携の下で支援の充実を図った。

11. 全般的対応

(1) 園内研修の充実・会議の充実

- ・研修・講習の報告は会議の中でなされるものの、園内研修にまで至ることがなかった。しかし、各会議では話し合いの内容が充実し定着した。

(2) 職員の質の向上

- ・自己啓発の推進に努め、概ね計画通りに研修に参加している。

(3) 保育内容への具体化

- ・保育内容の充実を図るべく 22 年度より 3, 4, 5 歳児クラスで、月 2 回縦割り保育の活動を実施。2 月末に、活動の最終まとめとしてホールにおいて大がかりな『お店屋さんごっこ』を展開した。2 歳児クラスを招き入れることで、より異年齢での交流を深める事ができた。
- ・4, 5 歳児の混合クラスでは、年齢別に配慮した活動が展開できるように、必要に応じて指導を行った。
- ・体育指導を受けることにより体を動かす事の楽しさを経験できたので、日常的に全体で体操を行うこととし、2 月より試行的に 9:00 から 2 曲行っている。

(4) 保護者支援の充実

- ・育児困難家庭と思われる保護者には、申し出のあった保育時間での保育を行っている。
- ・保護者からの問い合わせや育児に関する相談を受けた際の対応の仕方を職員に適宜行い、保護者が安心して子どもを保育園に預ける事ができるように配慮している。

(5) 地域支援の充実

- ・世代間交流、出前保育、異年齢交流、保育所体験、小中高生の育児体験受け入れ、子育てサークル支援、子育て情報誌の発行、園庭開放、子育て相談を計画通りに実施した。22 年度になり地域への支援活動が軌道にのりはじめた。

《施設事業管理》

1. 事務関係
 - ① 会計事務・管理事務は予算計画に応じて適切に行った。
 - ② 園児処遇事務（食育・食事・健康管理）は、保育カリキュラム・食事献立予定表・健康診断予定等に基づき適切に行った。
 - ③ 法人事務局への一部事務の移管を行った。

2. 設備・備品関係

園児の処遇で安全上、保育上必要と認められる設備・備品は予算と合わせて検討し、設置・購入

 - ・園庭の芝生化工事 11/25 より

 - ・防犯カメラの設置 11/20
園庭側・プール横出入り口・保護者駐輪場・保護者駐車場…事務室内にモニター設置。（録画機能あり）
 - ・AED の設置 8/26
AED 設置とともに、2 グループにわかれ職員が取り扱いについて説明を受ける。
 - ・正面玄関看板設置 11/5
正面玄関に園名を表示した。（業者：ひかりのくに）

3. 財務関係

予算の執行については毎月の運営会議、8 回開催した理事会等で進捗状況を詳細に検討し、効率的かつ健全な運営・処理に努めた。

以上

平成22年度

事業報告

社会福祉法人 国立保育会

西国分寺保育園

西国分寺保育園 22年度事業報告

22年度は園児125名、13時間保育、病後児保育事業、一時保育事業を実地した。丁寧な保育をこころがけ、保護者の対応にも気を配り、少しずつ信頼関係を結んでいく努力をした。結果、子ども達が保育園になじみ、保護者の信頼を得られるようになってきた。

1. 施設運営

(ア) 児童の処遇

① 定員とクラス編成

星組	月1組	月2組	虹1組	虹2組	風組	海組	空組
0歳児	1歳児	1歳児	2歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
9名	10名	10名	12名	12名	24名	24名	24名
合計							125名

月別入所児童数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
125	125	125	125	124	124	124	124	124	124	124	124

入所児童数に下記のとおり変動があった。

クラス名	年齢	園児数	保育士数
空組	5才	4月～7月：25名 8月～3月：24名	1
海組	4才	4月～3月：24名	2
風組	3才	4月～3月：24名	2
虹1組 虹2組	2才	4月～3月：24名	2 2
月1組 月2組	1才	4月～3月：20名	2 2
星組	0才	4月～3月：9名	3
			他 主任 1 副主任 1

② 月別保育予定日数と開所時間

事業計画どおりの保育日数で保育を実施、1時間延長、2時間延長保育も計画どおり実施した。

開所時間 13時間

月別保育日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 295日
25	23	26	26	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	23	26	

③ 健康管理

平成 22 年 保健行事実施日

■健康診断：

	H. 22										H. 23		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
0歳	4/21	5/26	6/23	7/28	8/25	9/29	10/27	11/24	12/22	1/26	2/23	3/30	
1歳	4/22							11/24					
2歳	4/22							11/24					
幼児	4/22							11/24					

■歯科検診：9/16（全クラス）

■ぎょう虫検査：5/14（全クラス）※5/18 検査予備日

■尿検査：5/14（幼児のみ）※5/18 検査予備日

■視力検査：

3歳児	11/29
4歳児	11/29
5歳児	11/29

身体測定：

	H. 22										H. 23		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
0歳	4/20	5/20	6/21	7/21	8/19	9/22	10/22	11/24	12/22	1/26	2/23	3/23	
1	4/19	5/19	6/11	7/15	8/16	9/15	10/18	11/18	12/16	1/18	2/17	3/17	

歳												
2歳	4/19	5/19	6/17	7/20	8/18	9/21	10/20	11/22	12/20	1/21	2/21	3/25
幼児	4/16	5/18	6/16	7/16	8/23	9/17	10/19	11/19 11/22	12/17	1/19 1/20	2/18 2/21	3/18

■ 歯磨き指導 :

2歳児	H. 23. 1/24
3歳児	H. 22. 6/9
4歳児	H. 22. 5/31
5歳児	H. 22. 5/17

■ 手洗い・うがい指導 :

2歳児	5/14(手洗い指導) 11/1(うがい指導)
3歳児	5/13
4歳児	5/11
5歳児	5/10

■ 布団乾燥 : 月2回実施

■ 頭じらみ検査 :

0歳児	6/8	12/6
1歳児	6/8	12/6
2歳児	6/8	12/7
3歳児	5/25	12/8
4歳児	5/25	12/9
5歳児	4/24	12/9

④ 保 育

- ・各クラス、保育計画に基づき、指導計画を作成、計画に沿った保育を実践した。
- ・行事活動を職員の話し合いを通し、発達段階を踏まえて考える事を

年間行事は予定通り実施することができた

4月	1日	入園式
5月	12日	誕生会(4、5月生れ)
	19日	ミニ遠足(4・5歳児)
	26日	ミニ遠足(3歳児)
	27日	春の遠足 昭和記念公園(4、5歳児)

6月	21～25日	保育参観・懇談会
7月	1日 7日 15日	プール開き 誕生会（6、7月生まれ） スイカ割り
8月		
9月	3日 8日	全園児災害時園児引渡し訓練 誕生会（8、9月生まれ）
10月	2日 18日～22日 28日 29日	運動会 懇談会 秋の遠足 羽村動物公園（4、5歳児）中止 秋の遠足 昭和記念公園（3歳児）
11月	10日 17日	誕生会（10、11、12月生れ） 勤労感謝の集い（郵便局）
12月	4日 7日 15日	発表会 大根掘り（5歳児） クリスマス会
1月	20日	餅つき
2月	3日 9日	豆まき 誕生会（1、2、3月生れ）
3月	11日 24日 26日	卒園遠足 お別れ会（感染症により中止） 卒園式

体育指導（体育講師派遣：KKジャクパと契約）

4月	整列、挨拶、体操	13・20・29日
5月	マット運動	11・18・25日
6月	跳び箱	1・8・15・22・29日
7月	プール指導	6・13日
8月	プール指導	5・6・24・25日
9月	運動会練習	7・14・21・28日
10月	平均台運動	5・12・19・26日
11月	鉄棒運動	2・9・16・30日
12月	短縄運動	7・14・21日
1月	短縄運動	11・18・25日
2月	ボール運動	1・8・15・22日
3月	サーキット運動	1・8・15日

⑤ 栄養管理

- ・ 集団給食施設栄養報告 5月 ・ 11月
- ・ 子ども達に発育に必要な栄養のバランスを考えて献立作りをした。
- ・ なるべく多くの食品を組み合わせて、子ども達の食体験の幅が広がるようメニューを考えた。
- ・ 出来るだけ国産の新鮮な素材を使用するよう努めた。
また、旬の食品を積極的に取り入れ季節感のある食事を作った。
- ・ 半調理品や添加物の多いものを避け、手作りの安全な食事を心がけた。
- ・ 生活習慣予防のため、また素材の味を生かすためにも、塩分、糖분을控えた薄味にした。
- ・ 日本の食事の良さ、和食のおいしさを伝えるよう心がけた。
- ・ 衛生的な調理、盛りつけを行った。
- ・ 子ども一人一人に見合った量が食べられるようおかわりを用意した。
- ・ 誕生会のメニューが、行事食としていつもより手のこんだ献立に工夫した。
- ・ 献立に魚料理の回数を増やした。

- ・ 年間食育計画に沿って保護者、園児、職員への食育指導を行った。
 - 4/26 (海組) 野菜の苗植えトマト
 - 4/26 (空組) 野菜の苗植えきゅうり
 - 5/7 (風組) 野菜の苗植えオクラ
 - 6/11 (空組) グリンピース皮むき
 - 6/14 (虹組) 空豆皮むき
 - 6/30 (風組) トウモロコシ皮むき
 - 7/12 (風組) トウモロコシ皮むき
 - 7/14 (空組) スイカ割り
 - 7/23 (海組) 枝豆の枝取り
 - 8/5 (虹組) トウモロコシ皮むき
 - 8/19 (虹組) トウモロコシ皮むき
 - 1/19 もちつき

- ・ 各クラス年齢に応じた調理保育を計画し、実践した。
 - 11/15 (風組) さつまいもの茶巾
 - 11/19 (空組) 大根パーティー
 - 12/21 (海組) 野菜サラダ
 - 2/10 (風組) 焼きそば
 - 2/15 (虹組) ジャガイモ餅

2/18 (空組) カレーライス

⑥ 安全管理

交通安全教育	11/18								
非常災害時の避難訓練	4/21	5/25	6/26	7/23	8/27	9/3	10/14		
	11/26	12/16	1/14	2/28	3/14				
災害時引渡し訓練	9/3								
消火訓練	10/14								
防犯訓練	7月末	2/17							

(イ) 職員の処遇

① 職員構成

園長	1名
副園長	1名
主任保育士	1名
保育士	4月～3月16名
	※他非常勤保育士 12名
調理員	栄養士 3名 調理師 2名 (内パート1名)
看護師	2名 (内病後児保育室 1名)
嘱託医	1名 (非常勤)
用務員	1名

② 健康管理

健康診断	年 1回	全員実施
細菌検査	月 1回	全員実施

③ 職員会議

定例会	4/1	4/21	5/25	6/25	7/28	8/27	9/28	10/22	11/17
	11/30	12/4	12/15	1/26	2/26	3/25			
臨時職員会議	6/7	12/10	12/13	3/8	3/22				
リーダー会議	6/4	7/22	9/9	11/10	1/19				
フロアー会議	4/13	4/14	4/15	4/22	4/26	5/11	5/18	6/7	7/14
	7/22	8/24	9/2	9/6	10/21	11/15	11/17	1/11	
	2/10	2/21							
運営会議	4/6	5/19	6/7	7/6	8/3	9/4	10/5	11/2	12/6
	3/8								
看護師会議	国分寺市看護師会	5/17	7/5	9/6	11/1	1/27	3/7		
	三園合同看護師会	5/9	7/10	9/4	11/13	1/15			
栄養士会議	7/22	11/19	2/18						

主任会議 5/18 6/3 7/6 9/17 11/12 12/13 1/12 2/9

④ 研修

●園長

11/1 OJT 研修 主催 東京都社会福祉保健医療研修センター

●副園長

9/14~17 保育所初任保育所長研修会 主催 日本保育協会

●指導的職員

11/1・2 OJT 研修 主催 東京都社会福祉保健医療研修センター

12/7・8 主任保育士研修会 主催 日本保育協会

2/1 リーダーシップ研修 主催 東京都民間保育協会

●中堅職員（経験年数5年以上）

6/15~18 保育所乳児保育担当者研修会 主催 日本保育協会

6/15 中堅保育士研修会 主催 東京都民間保育協会

7/8 食育研修「保育における食育活動の道しるべ」
主催 東京都民間保育協会

7/9 保育園における個人情報保護 主催 東京都民間保育協会

7/26・27 子どもの発達を支える保育環境のために 主催 世界文化社

8/5 発達障害の理解と対応・クラスの中で行う支援の工夫
主催 国分寺市子ども福祉部

11/12 保育園におけるリスクマネジメント・実践編
主催 東京都社会福祉協議会

11/18 やる気を出すコーチング
主催 東京都民間保育協会

11/24・25 保育所保育指針の実践
主催 東京都民間保育協会

1/18 保育要録研修会 主催 東京都民間保育協会

2/1 リーダーシップ研修 主催 東京都民間保育協会

●中堅職員（経験年数1～5年まで）

6/30 保育所研修会 主催 国分寺市 日吉保育園

10/26 上手に食べる 食べさせる 主催 東京都社会福祉協議会

7/1 日常遊び保育技術研修会

12/20~22 保育所事故予防研修会 主催 日本保育協会

1/14 子どもの事故防止 主催 東京都社会福祉保健局

●新任職員（パート職員含む）

- 5/23 新任職員研修会（民保協）
基礎的な知識、技術を随時主任、フロアリーダー、担任が指導した

●看護師

- 5/17 看護師連絡会（国分寺市）
6/24 母子保健研修
6/21 小規模プール等衛生管理講習会（多摩立川保健所）
8/5 発達障害の理解と対応・クラスの中で行う支援の工夫
主催 国分寺市子ども福祉部
9/6 看護師研修会（国分寺市）
12/24 子どもの感染症と予防接種 主催 東京都福祉保健局
1/14 子どもの事故防止 主催 東京都社会福祉保健局

●栄養士・調理師

- 6/15 栄養管理講習会（立川保健所）
6/18 給食担当者講習会 主催 東京都社会福祉協議会保育部川
6/29 栄養管理講習会（立川保健所）
7/8 食育研修「保育における食育活動の道しるべ」
主催 東京都民間保育協会
7/8 給食担当者講習会（東社協）
10/13 給食担当者講習会（立川保健所）
10/25 食物アレルギー対応のおやつ1品と他数品
主催 東京都民間保育協会
10/26 上手に食べる 食べさせる主催 東京都社会福祉協議会
11/18 やる気を出すコーチング 主催 東京都民間保育協会
11/30 給食担当者講習会（東社協）
1/21 食の安全について（東京都民間保育園協会）

●法人内研修

- 11/2・4・8・9・10 年齢別研修

●国分寺市研修会

- 保育マナー研修

●園内研修

- 6/25 乳児保育について理解する（講師 梨澤）
6/25 「ヒヤリハット報告書とは」（講師 菊地）
10/22 子どもへの対応を見直す（講師 園長）
11/17 じょうずに食べる、食べさせる（講師 長谷川）

●個別研修計画

別紙データ参照

⑤ 退職・福利厚生

- ・ 定年退職後、65歳まで継続雇用をする
希望者なし
- ・ 退職金等については速やかに適切に事務手続きを行う
平成22年度の退職者 神村 早紀
- ・ 職員への給食を実施、職員、児童への食育に努める
園児と同じ食事をし、食育に努めた
- ・ 職員の親睦と融和をはかる
食事会や忘年会、歓送迎会費の一部を援助した

2 施設管理

(ア) 事務関係

① 会計事務、管理事務

適切に事務処理をした

② 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

保育指導計画、給食献立、年間の健康診断予定等により、適切に実施した。
必要に応じて関係機関に報告書を提出した。

(イ) 設備関係

① 固定遊具の設備点検

- ・ 毎日点検し、記録した
- ・ 運動会当日、滑り台のスロープの部分を取り外したが、運動会終了後、取り付けを完了した（設置業者に依頼）

② 調理室設備、空調関係、防犯防火関係等

設備点検 6/25

電気設備点検 5月 7/12 9/13 11/12 1/11

消防設備点検 9/2 平成23年5/20

ダムエーター点検 4/8 6/1 8/3 10/4 12/3 2/3

学校110番点検 6/18 9/13 12/15 3/7

厨房設備点検 平成23年4月2日

- ③ 施設全体を常に点検し、修繕が必要と認められる箇所については、修繕を行う

【瑕疵担保分】

特になし

【追加工事分】

樹木消毒 5/29

網戸修理（幼児クラス）6/7

砂場抗菌砂入れ 6/17

幼児・2歳児トイレドア修理工事 7/28

ダムウェーターシリンダー交換 8/3

防犯カメラ交換 10/28

1階引き戸レール交換工事 10/24

2階・ホール引き戸レール交換工事 11/23

幼児用トイレドア修理 12/3

防犯カメラ交換 12/6

玄関・病後児入口ドア・調理室配膳台修理 12/8

幼児トイレ・2歳トイレ間仕切り修理 12/25

ホール引き戸（大）ストッパー取付工事 12/29

調理室床補修 12/29

調理室殺菌庫修理 1/6

0歳児調乳室換気扇修理 2/3

玄関鍵カバー交換・2階廊下サッシ補強 2/10

調理室給湯機交換 2/12

防犯カメラ4台交換 2/21

園庭（砂場・非常階段・水道）安全クッション取付工事 3/5・6

調理室スチームコンベクションカートリッジ交換 3/24

（ウ）備品関係

- ① 備品購入

事務用品は必要に応じ随時購入した

- ② 保育用品購入

乳児用プール・玩具・その他必要な保育材料等を随時購入した。

- ③ 給食用品購入

アレルギー児のための食器等を購入

サンプルケースを保護者より要望があり購入

（エ）災害対策

- ① 避難訓練 月1回実施した

- ② 防災設備の点検を委託した
- ③ 防災設備自主点検をし、記録した
- ④ 非常食料の備蓄
(全児童数+全職員数) × 3食 × (1日~3日)分 毎月1回点検し、記録した
(全児童数+全職員数) × 3食 × (1日~3日)分を追加購入
- ⑤ 防災、防犯訓練計画に沿って職員が連携出来るよう避難訓練記録を作成、職員会等で話しあった
電池・ランタンを購入

3 地域支援、地域交流

① 地域交流、子育て支援

行事への参加、協力の呼びかけ	2回	
小学校との交流、連携	3月	国分寺市立第5小学校見学と交流
子育て支援を積極的に行う		
パートナー登録	69名	
育児相談	0回	
園庭開放	月2回実施	
サークル活動支援	0回	
情報誌の発行	10回	
出前保育	6回	
保育所体験	66名	
保育実習	1名	
職場体験	8日	

② 児童虐待への対応

- ・ 5名の育児困難家庭の園児を家庭支援センター、児童相談所、健康推進センターと連携をとり、情報を共有し、指導を受けながら、適切な保育と保護者への対応につとめた
- ・ 職員全員が児童虐待への対応の基本を学ぶ

4. 病後児保育（補助事業）

病後児保育室の保育時間が8:00から17:30と長く、延長1時間を含めると18:30までの保育となるため、朝は在園児の健康管理をする看護師が受け入れをし、9:30から病後児室の看護師に引き継ぐことにした。
22年度利用延べ人数 351人

5. 延長保育事業

1時間延長 18:00 ~ 19:00 満1歳以上
緊急利用を含め、平日は52名余りが利用している

2時間延長 18:00 ~ 20:00 満2歳以上
緊急時を含め、平日4名余りである

6. 一時保育（自主事業）

就労、リフレッシュ、私的な用事で一日とか半日の利用があった
平成22年度利用延べ人数 25人

7. その他

ア 個人情報保護

個人情報管理規程に基づき、個人情報の取り扱い方を職員全員に周知徹底している

職員、非常勤職員については個人情報保護についての誓約書の提出が義務付けられている。職場体験の高校生はオリエンテーションのときに個人情報保護についての説明をした。

イ 苦情対応

苦情受付窓口を設置、ご意見、ご要望があった時はその都度対応し、掲示した。受け付けた苦情については、必要に応じてその経過をホームページで公開している。

苦情対応責任者 園長

苦情対応担当者 主任保育士

第三者委員 2人

ウ 第三者評価

利用者アンケートを実施

株式会社 医療福祉研究所 12/7 契約書を取交し 12/9 調査票の配布

1/27 調査票の結果報告日

1/27 調査検査報告書 調査対象者数 103名

有効回答者数 62名

利用者総数に対する回答者割合 60.2%

総合満足度調査 大変満足 27.4%

満足 51.6%

どちらともいえない 8.1%

不満 8.1%

大変不満 0%

以上